
「災害（さいがい）」 体験した人に聞いてみた

5年2組



～災害の種類～

まず災害の種類について説明します。

主な災害は5つあり、

地震 (じしん)

津波 (つなみ)

土砂崩れ (どしゃくずれ)

豪雨 (ごうう)

台風 (たいふう)

があります。



体験した人に聞いてみました

2人の先生に聞きました。

1人目は校長先生です。

2人目は教頭先生です。



1人目 ～校長先生～

校長先生は東日本だいしんさいの日に出張でとやまけんの小学校にいました。

じしんのゆれをかんじたあと、柱にかけてあった絵画がゆれました。

帰ろうと思ったらと、とまっているでん車があったたそう
ですが、なんとか京都駅まで帰ることができました。

東京の方へ行くしんかんせんやでん車は、すべて止まって
いたためえきは人でいっぱいだったそうです。



2人目 ～教頭先生～

教頭先生は海の近くで働いていたときに『高潮』（たかしお）という災害が起きました。

魚が泳ぐくらいに水がたまったそうです。

働いていた若者が近くの家でひななの呼びかけをしていたそうです。



～高潮とはなにか～

高潮とは台風のような強い風で海面（うみの面）が非常に高くなることを高潮と言います。



まとめ

地震（じしん）などの災害はいつ来るかわかりません。

なのでいつきてもいいように防災バックや家具の固定などの準備をしておきましょう。



～最後に～

最後にまとめに出てきた「防災バック」には何を入れたらいいのか説明します。

- ・ 水（最低でも500mlを3本）
- ・ 衣類
- ・ タオル
- ・ 食料品(すぐに食べられるもの)
- ・ 懐中電灯
- ・ 携帯用充電器
- ・ 貴重品（身分証など）
- ・ 携帯ラジオ
- ・ 雨具、防寒具
- ・ 携帯トイレ
- ・ トイレトペーパー
- ・ 災害用ホイッスル
- ・ 救急グッズ
- ・ 軍手
- ・ ペン、ノート
- ・ 常備薬、お薬手帳
- ・ 洗面用品 ※最低でもこれだけ入れてください

